

代 表 者

陳 情 活 動 報 告 書

令和元年11月5日

会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

沖 田 範 彦

次のとおり陳情活動したので報告します。

1. 期 日

令和元年10月24日（木）

2. 陳 情 先

衆議院 寺田 稔 議員，平口 洋 議員，新谷 正義 議員，尾見 朝子 議員
参議院 山田 宏 議員，和田 政宗 議員，鈴木 宗男 議員

3. 陳情内容

(1) 公文書等に外国語表記を控え，理解しやすい文書とするよう要望を行った。

(2) シベリアに抑留され，苦役やその他様々な理由で命を落とされた方々の遺体そのままシベリアの地に埋葬されています。その数は200カ所以上にも及び，元戦友の方々により，埋葬地の整備と墓標の建立がされていますが，そのほとんどが放置されている現状を鑑み，整備を行うに当たっては，担当部局である厚生労働省援護局に対し，その費用の負担を求めるよう要望を行った。

(1) (2) の要望については，それぞれ協力することの約束を得ることができた。

代 表 者

視 察 報 告 書

令和元年11月5日

会派代表者 殿

呉市議会議員

沖 田 範 彦

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

令和元年10月25日（金）

2. 調査項目

新潟県燕市 食育について

3. 参加議員

沖田範彦議員

新潟県燕市

■調査項目

食育について

■調査対応者

議会事務局 局長 今井和行

副参事 本間みゆき

健康福祉部健康づくり課 課長 丸山美子

副主幹 五十嵐恭子

管理栄養士 吉川智恵

保健指導専門員 高宮佐恵子

■調査期日

令和元年10月25日(金) 14時30分～

■調査目的

呉市における食育の推進

■視察内容

燕市は県内で最もメタボ率が高いという実態の中で、その改善のため、平成24年3月に「食育プランつばめ」を、そして、5年後の平成29年3月に、第2次「食育プランつばめ」を策定し、①ご飯を2食は食べる、②早寝・早起き・朝ご飯の習慣づけ、③野菜摂取・減塩の啓発、④郷土料理の継承を大きな題目として掲げ、「病気を予防する」、「元気を増進する」、「食を通じて体と心を健康にする」ことに力を注いでいった。

そのほか、「つばめ食育だより」(毎月)したり、「つばめ元気ががやきポイント手帖・こども手帖」を発行し、就寝2時間前までに食べ終える、野菜を毎日食べる、ご飯を2食以上食べる、1口30回よくかんで食べる、3食しっかり食べることを手帖に記入したりすることにより、啓発を行っている。

また、「食育かるた」、「食育すごろく」、「食育食材3色マント」を使って、子供たちがより理解しやすい工夫を行っている。「男のチューボー」と銘打って、男性が食事づくりを行う手助けにも取り組み、好評だそうです。

これらの取り組みは医療機関をはじめ、保育所、幼稚園、小中学校、福祉施設、スポーツ施設など、あらゆるところで推進をしており、現在、道半ばではあるが、手応えを感じているということであった。

■呉市での展開の可能性

呉市においても、いろいろと食生活に関する取り組みを行っているが、燕市のような取り組みなども参考にしながら計画を立て、一人一人の自覚を促すことによって、生活習慣病予防につながっていくのではないかと思います。